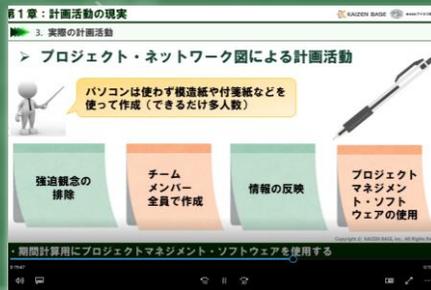


カイゼンベース学習コース紹介

プロジェクト・マネジメント実践講座

本学習コースの狙い

昨今、世界で新たな潮流、新たな標準となりつつある「アジャイル」というキーワード。本講座では、入門講座、基礎講座で学んできた計画の活動を、実務でどのように活用するのかを解説します。プロジェクト・マネージャーとして意識しておくべき失敗プロジェクトの特徴や、それらに対応する際の考え方を確認しましょう。



受講対象者：全部門（管理職）

eラーニング学習画面イメージ



カリキュラム

☑ 動画再生時間：約1時間52分 ☑ 想定学習時間：約2時間50分

教材の構成：動画コンテンツ4ヶ、理解度確認テスト各章5問、総合テスト全20問

※ 理解度確認テストは各章毎に設定されており、最後の総合テストでは全動画の中からランダムに出題されます。

第1章：計画活動の現実

第1章：計画活動の現実

1. ムリな発注となる必然性と具体的な対処

「見える化」されない要因とは!?

- 認識不足
- 知識不足
- 恐怖感

29:49

プロジェクトを成功させたい一心や焦りなども背景にあります。

目次

ムリな発注となる必然性と具体的な対処/ガントチャートの計画の弊害/実際の計画活動/計画最適化/まとめ

第2章：失敗プロジェクトの特徴と対応

第2章：失敗プロジェクトの特徴と対応

1. 情報の軽視

プロジェクトマネジメントがコミュニケーションに費やされる時間は・・・90%

コミュニケーションがもたらすこと

- プロジェクトを成功に導く大きな原動力となる
- それぞれが職務を果たす上で大きな力となる
- 対象プロジェクトに対する理解度に比例する

33:15

対象プロジェクトに対する理解度に比例します。

目次

情報の軽視/不十分な成果物の定義/アバウトなスケジュール/会議法、議事録術/モチベーション! (Win-Win)/まとめ

第3章：アジャイル開発とは

第3章：アジャイル開発とは?

2. アジャイル開発の特徴

3 自主自立のチームでの作業

- 小集団にすることで、コミュニケーションが円滑にとれるようにする
- 短い期間内で開発プロセスを繰り返す、計画から作業まで全てに責任を持つ
- チームで作業ベースを決め、相互に問題を毎日話し合うことで自主自立運営をする
- 自主自立的に活動することで、モチベーションが上がる
- 多機能なメンバーが取り組む事でコンカレント（同時進行）な開発が可能になる

24:11

コンカレント（同時進行）な開発が可能となるなどの良い点があります。

目次

顧客が本当に必要だったもの/アジャイル開発の特徴/アジャイルの開発手順/アジャイルは日本発/アジャイル型とウォーターフォール型の比較/まとめ

第4章：アジャイル各手法の概要

第4章：アジャイル開発の各種技法とリスク

1. アジャイル開発の各種技法

ペアプログラミングのメリットと注意事項

メリット

- コーディング規約の遵守、単純ミスの減少
- 規範意識の向上
- 多角的な問題解決
- 職人化の排除
- 教育的効果、スキル向上
- 早期の正確な仕様理解

注意事項

- ペアでうまくやることを意識する
- 作業時間を短くして（30分など）確実に休憩を取ることをルーティン化する
- 高いスキルを持つ開発者が非協力的になりがちなることを考慮し、確実にペアプログラミングのメリットが得られるようにします。

25:04

確実にペアプログラミングのメリットが得られるようにします。

目次

アジャイル開発の各種技法/アジャイル開発のリスクを考える/まとめ



カイゼンベース株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目3-1
TEL：03-6368-5620 FAX：03-4586-7148
お問い合わせ：info@kaizen-base.com

お申し込みはWEBサイトから！
<https://kaizen-base.com/e-learning/>

